

緊急事態宣言下で活動をオンライン化できた市民団体は僅か3割¹



- ✓ ほとんどの団体が電話で安否確認を行う程度
- ✓ 会員の減少、活動休止・停止を危惧

2020年の市内の地域イベント・学校行事の多くが中止!

多摩市はYouTubeでオンライン文化祭を企画

- ✓ オンラインと聞いただけで距離を感じるシニア世代の存在¹



「新しい日常」に対応できない市民が存在

¹ 新型コロナウイルス感染症の影響について市民活動団体を対象としたアンケート調査結果について(多摩市より)

誰一人取り残さない、「新しい日常」の実現に向けて
～リアルもオンラインも、多摩市若者会議が実現します!～

1 地域イベントのオンラインとリアルの融合



若者会議主催市民アート展示イベントのparaアート(11月)



11/16 NHK「おはよう日本」で放映

オンライン文化祭に連動し若者会議が設置したYouTubeパブリックビューイング(11月)



スマホアプリを活用した密にならない謎解きラリーイベント(主催)



イベント会場からVR Live配信(イベント開催に協力、カメラ設置配信は若者会議)(10月)

【その他事例】

- 東京ヴェルディ様と連携しホームタウンをテーマとしたオンラインワークショップの開催(5月)
- 若者のまちづくりをテーマとしたオンラインワークショップの開催(6月・9月・11月)
- instagramフォトコンテストの開催(10月)

2 市民活動のオンライン化支援



市内団体の講演会のオンライン化支援事例

若者会議運営の「未知カフェ」で機材の用意・オペレーションを担当

【12月までの支援実績】

- ✓ 9回の市民団体のイベント
- ✓ 3回の市役所のイベント

【類似事例】

- 市内店舗のGoogleビジネス掲載支援

今後

- 継続困難となった障がい者団体アート展示の後継アート展示の開催(多摩市役所と協議中)
- 地域福祉推進委員会が発行する誌面『ささえ愛』と合同会社MichiLab(※)が制作する動画・ウェブサイトを連動させる取り組み ※2020年4月多摩市若者会議コアメンバー出資で設置した法人

空間・世代・ハンディキャップも超越した地域コミュニティへ!